

峰延農協第70回通常総会



第70回通常総会（JA三階大会議室 3月26日）

■発行日/平成30年4月1日/No.1392号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社



祝辞を述べる美唄市 藤井副市長

（決算・剰余金処分案・定款・
新年度事業計画案・定款・
信用事業規程の一部改正等2件
含む全8件を原案通り承認決定）
当JAの第70回通常総会は、3月26日午後1時30分から当JA三階大会議室で正組合員436人のうち、本人出席に代理出席と書面議決書提出を合わせ314人が出席して開催されました。

工藤総務課長の開会宣言で始まり、報徳訓を全員で朗唱した後、森川組合長の挨拶に続いて、JAの事業推進に貢献のあつた前青年



質問をする中越青年部長

部長の三浦泰来さんに対し、森川組合長から感謝状と記念品が贈呈されました。

来賓の関係行政を代表して藤井美唄副市長、系統連合会を代表してJA北海道中央会岩見沢支所の伊藤支所長から祝辞をいただき、上美唄町南の井沢貴司氏を議長に選出し議事に入りました。

議事は、定款の一部改正、信用事業規程の一部改正、第70事業年度（平成29年度）事業報告書、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び注記表の承認、第71事業

年度（平成30年度）事業計画の設定、宮農賦課金の賦課及び徵収方法、役員報酬の支給等合わせて8議案について審議され、全議案が原案通り承認決定されました。また、JA北海道大会決議事項の着実な実践に関する特別議決も満場一致で決議されました。

中越青年部長からブランド米生産の取り組み、組合員の対応向上、生産資材の供給、青年部事業の支援の継続等の意見や要望が出されました。

最後に、伊藤専務理事の閉会挨拶で通常総会は終了しました。

おぐやみ申し上げます

渡辺 節子さん（94歳）2月23日

美唄市豊葦町2区

II職員の退職II

・林 康平（宮農販売課）

平成30年3月30日付け

営業時間の変更

4月から夏期営業時間

J Aみねのぶの営業時間が4月1日から10月31日までの期間、夏期営業時間に変わります。

各部署の営業時間は次の通りです。これまで以上のご利用をお待ち申します。

J Aみねのぶ女性部 大豆加工サークルが味噌作り

J Aみねのぶ女性部（吉村俊子
部長）の大豆サークルが、2月16
日に峰延福祉会館（峰延町本町）
で「味噌作り」を行いました。
今年参加したのは大豆サークル
メンバー11名で、本年も峰樺の前
川和子さんと藤井悦子さんを講師
に招いて、全員の1年分の自家用
味噌の仕込みを行いました。

この味噌作りは毎年この時期に

	平日（月曜～金曜）	土曜	日曜	祝日
本所事務所（ビル2階）				
金融店舗（本所1階）	午前8時30分～午後5時	午前8時30分～正午		休み
宮農事務所				
宮農資材店舗				
精米所	*精米所は毎週木曜日休み	休み		
ATM（現金自動預払機）	午前8時30分～午後6時	午前9時～午後5時	休み	
生活店舗		午前9時30分～午後6時30分		
峰延給油所	午前7時30分～午後7時30分	午前7時30分～午後7時		

【ご留意】

*金融窓口業務（貯金・共済・融資・出納）のうち貯金の預払、共済掛金払込、貸出金の償還等の現金を伴う業務は、平日（月曜～金曜）の午前8時30分から午後4時までです。
*為替振込の取扱いは、平日（月曜～金曜）の午前8時30分から午後3時までです。
*宮農資材店舗は、5月末までは休まず営業し（5月5日（祝）を除く）、6月から9月までの日曜・祝日は午前8時から午前11時まで営業いたします（8月12日（日）、8月25日（日）を除く）



ミニチ状の大豆に昆布・唐辛子を入れて仕込み完了



最初に麹と大豆を混ぜ込みます

行われていて、サークルメンバーにとつては楽しい恒例行事となっています。久々の再会で、仕込み作業をしながらの情報交換に盛り上がっていました。麹と混ぜ込んで

大豆を機械でミニチ状にして味噌樽に入れますが、中に唐辛子と昆布も入れ、塩を振った後に除菌をして、各自の味噌樽の仕込みが完了。保存料を使わない、安心・安全で更に家族への「愛情」をいっぱい込めたこの味噌は、10月中旬過ぎには味わえるそうです。

J A 女性部 第67回通常総会終了



挨拶を述べる吉村女性部長

2月23日、当JA三階会議室において、JAみねのぶ女性部の第67回通常総会が開催されました。出席した部員はフレッシュユミズを含めて22名、今年は光北支部の酒巻監事が司会を務め、吉村部長

の挨拶の後に、来賓である当JA森川組合長、空知農業改良普及センターの竹内所長、峰延農民協議会の池上委員長の祝辞に続き、峰延支部の稻場麗子さんが議長に選出されました。

議事は、平成29年度事業経過報告並びに収支決算報告、平成30年度活動方針、事業計画並びに収支予算案、平成30年度部員の負担金並びに登録期日についての案件が提案され、全件可決されました。

総会終了後には、生活作品展が開催され、部員による衣食の作品10点以上が展示され、試食も行われました。引き続き「女性セミナ



生活作品展の様子

「」が開催され、美唄市消防署から講師を招いて、『恐ろしい災害について』と題した講話がありました。消防や救急への通報の方法についての留意点、地震や火災などの災害の実態や予防について説明がありました。

参加した部員は、身近にある事例の多さに驚き、真剣な表情で話を聞いていました。

この日は、ほぼ1日がかりの行事日程でしたが、忙しくなる春の農作業前の集まりで、久しぶりに勢揃いした部員の皆さんには、色々な情報交換をして交流を深められた1日となりました。



美唄市消防署の職員が講師で女性セミナー開催



秋播き小麦の部で表彰を受けた吉田 彰さんと奥様

北海道米麦共励会で吉田彰さんらが表彰を受ける
3月2日、札幌市内（ホテルモントレエーデルホフ）で平成29年度北海道米麦共励会の表彰式が開催されました。当管内からは水田転換畑における秋播小麦の部で吉田彰さん（光珠内北）、直播栽培部門生産グループの部で美唄市水稻直播研究会（鈴木孝典会長）が各部門において表彰されました。

小麦部門にて表彰を受けた吉田彰さんは、田畠輪換と大豆・越冬キヤベツを導入した輪作の実施にて表彰されました。

加え、圃場条件とその年の天候に合わせた排水対策及び肥培管理の徹底により高品質・高収量を実現したことが評価され今回の受賞に至りました。

水稻直播部門にて表彰を受けた

美唄市水稻直播研究会は昭和63年に設立され本年30周年を迎えており、長年に渡り直播栽培技術に対し研鑽を重ね、技術普及に寄与したことなどが評価され今回の受賞に至りました。また、会長である鈴木孝典（光珠内町一区）さんは表彰式終了後の優良事例発表にて「美



直播栽培部門生産グループの部で表彰を受けた美唄市水稻直播研究会（鈴木会長、加藤副会長、田中副会長）

唄市水稻直播研究会の活動について」講演されました。

各受賞者の栽培技術・取組などの詳細は米麦改良協会ホームページにて記載されておりますので是非ご覧になってみて下さい。

峰延ブランド米 生産組合が総会開催

3月5日、当JA三階会議室で峰延ブランド米生産組合（鈴木孝典組合長）の総会が開催されました。

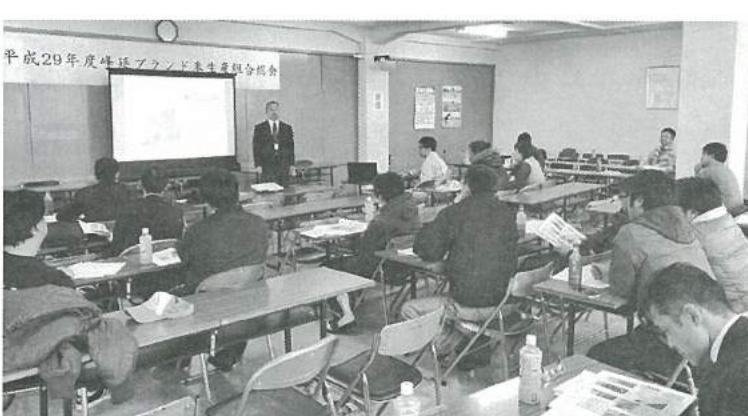
総会開催に先立つて、平成29年産の「ゆめぴりか」「ふっくりんこ」の基準内品出荷者の中から、低タンパク比率と出荷反収で優秀な成績を収めた生産者に対して表彰が行われました。「ふっくりんこ」の部は城山幸明さん（豊葦4区）、「ゆめぴりか」の部は白石陽一さん（岩峰）が表彰されました。

当JAの森川組合長の祝辞に続き、議長に星野功平さん（岩峰）が選出され、平成29年度事業報告、規約改正、栽培・生産・出荷基準協定書（案）の設定、平成30年度事業計画（案）、平成31年播種用種子配分方法が協議され、原案通り承認されました。

また、今回は任期満了に伴う役員改選が行われ、次の通り選任されました。（敬称略）

組合長 鈴木孝典（光珠内中央）	副組合長 吉田彰（光珠内北）
幹事 橋本昌宏（上美唄中央）	副組合長 高橋勲（中小屋）
幹事 八田重忠（峰樺）	

岩見沢支所の湯佐米穀課長より米質向上技術について」、ホクレン



総会終了後の講習会の様子



アイシングのデザインをしている様子



完成したアイシングクッキー

販売の最新情報として「うるち米をめぐる情勢について」を、スライドや資料を用いて説明を受け、熱心に質問が出されていました。最後に質疑応答の時間が設けられ、峰千加（ほうせんか）がアイシングクッキー講習会開催

2月27日、峰千加（ほうせんか）の調理部門がアイシングクッキー作り講習会を開催し9名が参加しました。

アイシングクッキーのアイシングとは「お菓子にかける砂糖の衣」という意味。カラフルに着色

しました。

主催者として中越健祐青年部長が「今日に至るまで幾多の苦難を乗り越え、組織の発展にご尽力された歴代役員、部員盟友の方々、支援をいただいたJAをはじめ関係機関の皆様に感謝します。先行き不透明な農業情勢ですが、諸先輩方が積み重ねてきた歴史と意思を受け継ぎ、盟友相互が切磋琢磨し農業の担い手として自信と誇りを持ち、地域農業を発展させるよう青年部活動を実践します。」と力強い挨拶を述べました。歴代部長にこれまでの青年部活動発展のため精励され多大なご尽力に感謝状と記念品の贈呈が行われました。

続いて、高橋美唄市長以下4名の来賓の方々から祝辞があり、祝電

講師は、JSAアイシングクッキー認定講師の中村真樹（峰権3区）さんです。参加者各自が苦戦しながら個性溢れるデザインでクッキーにデコレートしていました。中にはお子さんと一緒に参加し親子で楽しんでいる方もいました。このように、峰千加では会員のみならず地域の男女を問わず誰でも参加できて楽しめる会を目指しています。

主催者として中越健祐青年部長が「今日に至るまで幾多の苦難を乗り越え、組織の発展にご尽力された歴代役員、部員盟友の方々、支援をいただいたJAをはじめ関係機関の皆様に感謝します。先行き不透明な農業情勢ですが、諸先輩方が積み重ねてきた歴史と意思を受け継ぎ、盟友相互が切磋琢磨し農業の担い手として自信と誇りを持ち、地域農業を発展させるよう青年部活動を実践します。」と力強い挨拶を述べました。歴代部長にこれまでの青年部活動発展のため精励され多大なご尽力に感謝状と記念品の贈呈が行われました。

3月14日に当JA三階会議室で春の講習会を開催しました。

今回は、フィンランドの伝統装飾品「ヒンメリ」製作で、材料はストローと麻糸、これを繋げて作

してクッキーに絵やメッセージを描いたりデコレーションを施したもののがアイシングクッキーです。

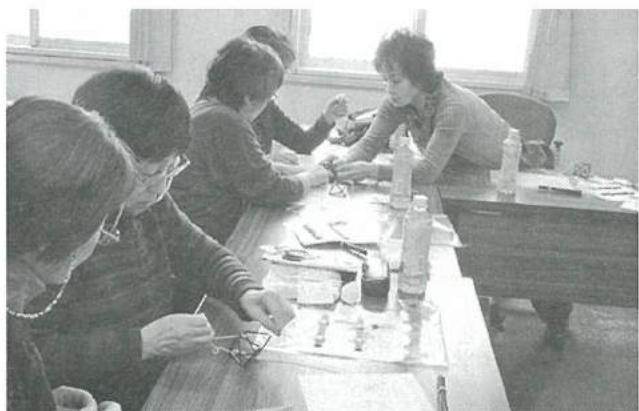
講師は、JSAアイシングクッキー認定講師の中村真樹（峰権3区）さんです。参加者各自が苦戦しながら個性溢れるデザインでクッキーにデコレートしていました。中にはお子さんと一緒に参加し親子で楽しんでいる方もいました。このように、峰千加では会員のみならず地域の男女を問わず誰でも参加できて楽しめる会を目指しています。

延青年部が創立70周年記念式典を開催しました。式典には、歴代青年部部長、青年部役員OBをはじめ、来賓には高橋美唄市長、森川組合長、北海道農協青年部協議会の今野邦仁氏、峰延農民協議会の池上昭彦委員長、青年部歴代事務局OB、現盟友ら98名が出席しました。

祝賀会では、記念式典を通じ久しぶりに会う青年部OBの皆さんに昔話に盛り上がっていました。



挨拶をする中越青年部長



ストローに糸を通し1本ずつ繋げると立体的になってきます



出来上がった作品を手に講師の黒田さん、田中さんと一緒に記念撮影

るモビール（室内装飾）です。参加したのは11名の部員で、講師は、地元の女性農業者が集い自分で生産した野菜を使って乾燥野菜の加工・販売を行っている「つむぎ屋」のメンバーでJAびばい女性部の部員でもある黒田優子さんです。

本来は小麦の収穫後に出てくる麦稈（ストロー）を乾燥させ材料にしますが、今回はその麦稈の代わりに既製の黒いストローを材料に使いました。黒田さんと応援の田中さんから丁寧に指導を受けました。ストローを適当な長さに切り分け、ストローに針金で糸を

通して三角形を作りながら繋げていくと、徐々に立体的になり、幾何学的なデザインの作品が出来上がりました。参加した部員からは「思っていたより簡単に出来て楽しかった。」「最初は難しかったけど徐々に楽しくなって、綺麗に出来上がって嬉しかった。」「孫の自由研究に教えてあげたい。」と感想の声が聞けました。自分達の身近にあるものを使つておしゃれなインテリア品を作つたこの講習会は、部員同士が手伝い合はながら和気あいあいと交流も深められました。

峰延農協協栄会が総会開催
当JAの役員OBで構成する協栄会の総会が3月22日、美唄市内のゆりん館で開催されました。会員8人が出席し平成29年度の事業結果・収支決算、平成30年度事業計画案・収支予算案が原案通り決定されました。

来賓に森川組合長、伊藤専務理事が招かれJAの決算内容や最近の農業や農協を取り巻く情勢等が伝えられました。総会終了後の懇親会では久しぶりに会う方が多く懐かしい話に盛り上がっていました。

また、任期満了に伴い役員改選が行われ次の方が選任されました。
・会長 工藤勝善（光北）新
・副会長 北野 守（大願）新
・監事 橋本 豊（上美唄）新
今橋道夫（豊葦）新

「食農教育」補助教材贈呈

J Aバンク食農教育応援事業で小学生向けに作成した食農教育の補助教材を当JAから美唄市教育委員会を通じて峰延小学校に贈呈しました。



星野教育長に補助教材を手渡しました

3月23日、当JAの安達常務理事とJAびばい岸組合長が揃って美唄市教育委員会を訪ね星野恒徳教育長に各JA管内にある小学校の生徒人数分の教材を手渡し、安達常務からは、峰延小学校の児童分10冊を贈呈しました。

平成20年度から始めた「JAバンク食農教育応援事業」は、JAが全国の子供たちに向けて食・環境と農業への理解を深めてもらおうと食農教育の補助教材の贈呈を継続して実施しています。

贈呈した補助教材は、教材名が「農業とわたしたちの暮らし」で私たちの生活に欠かせない食と農

業、環境と農業の密接なかかわりの他、安定した食が各家庭に届くまでの流通や農畜産物の全国の产地等をイラスト・写真・グラフをふんだんに使い総合的に学習することが出来る内容の小学校5年生向け教材と教師用の指導書の2種類です。

贈呈を受けて星野教育長は、「美唄の基幹産業は農業で、この教材を使って農業の事を学び、理解を深めることができるので助かっています。」と述べていました。

吉村俊子さん北海道産業貢献賞を祝う会開催する

3月22日、当JA三階会議室で先に北海道産業貢献賞を受賞した吉村俊子さんの受賞を祝う会が盛大に開催されました。高橋美唄市長、空知農業振興部松橋農務課長、空同センター黒澤次長以下関係機関の皆さん46名が参加し開催されました。

吉村俊子さんは、平成15年に北海道指導農業士の認定を受け、平成24年から北海道指導農業士協会副会長、平成27年には北海道指導農業士協会の第9代会長に初の女



お祝いの挨拶を述べる高橋美唄市長

副会長、平成21年には美唄市教育推進計画策定委員を務め平成22年からびばい教育ネットワーク委員に美唄市グリーン・ツーリズム研究会に参加し平成14年から同会

性の会長で就任し、平成29年からは顧問を務めています。また、平成26年から全国指導農業士連絡会理事を務めています。

平成10年には美唄市農業・農村発展ビジョン策定委員、平成12年には美唄市グリーン・ツーリズム研究会に参加し平成14年から同会

副会長、平成21年には美唄市教育推進計画策定委員を務め平成22年からびばい教育ネットワーク委員に美唄市グリーン・ツーリズム研究会に参加し平成14年から同会

を務め、平成23年から当JA女性部長を務めています。

農村女性の地位向上、地域農業振興に大きく貢献し活躍の場を広げています。

29年産米食味ランキング発表「ななつぼし」「ゆめぴりか」が特A評価

日本穀物検定協会は2月28日に平成29年産米の食味ランキングを発表しました。炊飯した白飯を実際に試食して評価する食味官能試験に基づき評価するもので、専門の評価員20人が外観、香り、味、粘り、硬さ、総合評価の6項目について5段階で評価します。食味試験のランクは、複数産地コシヒカリのブレンド米を基準米として、これと試験対象産地品種と比較し、基準米よりも特に良好なものを「特A」、良好なものを「A」、おおむね同等なものを「B」、やや劣るものを「B」、劣るものを「B」にランク付けしました。

29年産米は151産地品種銘柄（28年産141銘柄、27年産139銘柄、26年産133銘柄）で最高ランクの特Aにランクインしたのは43銘柄（エントリーした151銘柄の約3割）で前年産を

16産地銘柄がAに格下げとなりました。新潟・魚沼コシヒカリの特A連続記録が28回で途切れる波乱がありました。

北海道の「ななつぼし」は8年連続で特A、8年連続で特Aとなつた米は151点中わずか3点、また「ゆめぴりか」は7年連続で特A、7年連続で特Aとなつた米は151点中4点でした。「ふつくりんこ」は昨年の特AからAに下がり、「きらら397」は平成元年から食味ランキングに出品を続けてきましたが、29年産は出品を取り下げ28年連続出品でピリオドを打ちました。

II職員採用II

4月1日付けで採用した正職員

を紹介します。

当人には、一日も早く職場に慣れ担当業務に精通し一人前のJA職員になるよう伝えてあります。皆さまのご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。



・ 氏名 小笠原 康平
 (おがわら こうへい)
 18歳
 ・ 出身校 北海道岩見沢緑陵高等
 校
 ・ 年齢 18歳
 ・ 出身地 美唄市
 林真里
 (はやし まり)
 18歳
 ・ 出身校 北海道美唄尚栄高等学
 校総合学科
 ・ 年齢 18歳
 ・ 出身地 美唄市



・ 氏名 佐々木伸也
 (ささき しんや)
 18歳
 ・ 出身校 北海道岩見沢農業高等
 校
 ・ 年齢 18歳
 ・ 出身地 岩見沢市
 今田成哉
 (こんだ せいや)
 18歳
 ・ 出身校 北海道岩見沢農業高等
 学校環境造園科
 ・ 年齢 18歳
 ・ 出身地 岩見沢市



・ 氏名 道下 優也
 (みちした ゆうや)
 18歳
 ・ 出身校 北海道岩見沢農業高等
 校
 ・ 年齢 18歳
 ・ 出身地 岩見沢市
 小笠原 康平
 (おがわら こうへい)
 18歳
 ・ 出身校 北海道岩見沢緑陵高等
 校
 ・ 年齢 18歳
 ・ 出身地 美唄市



・ 氏名 今田成哉
 (こんだ せいや)
 18歳
 ・ 出身校 北海道岩見沢農業高等
 学校環境造園科
 ・ 年齢 18歳
 ・ 出身地 岩見沢市



・ 氏名 道下 優也
 (みちした ゆうや)
 18歳
 ・ 出身校 北海道岩見沢農業高等
 校
 ・ 年齢 18歳
 ・ 出身地 岩見沢市
 小笠原 康平
 (おがわら こうへい)
 18歳
 ・ 出身校 北海道岩見沢緑陵高等
 校
 ・ 年齢 18歳
 ・ 出身地 美唄市

[連載]今こそJA!～その意義と役割～

第12回 JAの厚生事業

JAが病院経営を行っているのをご存じでしょうか?組合員が健康を損なえば日々の農作業や生活に大きな支障をきたしてしまいますし、病院がなければその地域に安心して住むこともできません。そこで医療を通じて組合員の健康や地域を守る役割を果たしているのがJA北海道厚生連です。JA北海道厚生連は昭和14年に農民組織が上湧別に開設した「北紋医聯久美愛病院」が前身であり、現在、全道15カ所で厚生病院・診療所を運営しています。

病気の治療はもちろん大切ですが、日頃から病気にからないようにチェックすることも重要です。医療技術の進歩は目覚ましく、がんも早期発見によって治療が可能となっていました。このため厚生病院では健康管理活動に力を入れており、JA北海道厚生連が実施している検診は全道で年間9万人が受診しています。

また、北海道の高齢化率は全国平均を上回っており、医療とあわせて高齢者介護も重要な課題です。JA北海道厚生連では、全道3カ所、うちオホーツク管内に2カ所(常呂、小清水)の特別養護老人ホームを設置し、各地域で訪問看護ステーションやデイサービスといった居宅サービスを行っています。この他にもJA北海道厚生連では家庭配置薬事業も行っており、各地域のJAと連携を取りながら、地域医療の拠点としての役割を果たしています。

厚生病院・診療所に勤務している医者や看護師も私たちと同じJAの一員です。ぜひ気軽に声をかけて下さい。

JAグループ通信

No.21

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、

組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会



2月に、児童養護施設との調理実習体験「おとなの食育」を開催しました。興正こども家庭支援センターと共に催し今回で5回目。

高校卒業後一人暮らしをしても規則正しい食生活を送ってほしいという趣旨で実施しています。前半は札幌消費者協会 札幌ボトフの会の吉田講師より、身体に必要な栄養素や食品選びの考え方を学び、後半は料理教室を開催。参加児童は「調理方法など、わからないことを学べてとても良い機会だった。」と感謝の気持ちを話してくれました。



JA北海道信連



J A バンクを広く知つてもらおうと、3月の札幌ドームでのファイターズの試合にブースを出展しました。

当団は、春のキャンペーンへ応募された方にちよりスグッズを、J A バンクのアンケートに回答された方に試合の観戦チケットを抽選で贈呈する等、J A バンクのP Rに取組みました。

今後も、様々なスポーツとの連携・支援等を通じて、J A バンクのファンづくりに向けて取組んで参ります。

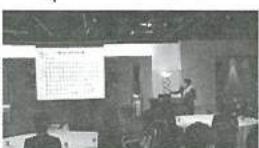


ホクレン

HOKUREN
Seeds
PROJECT



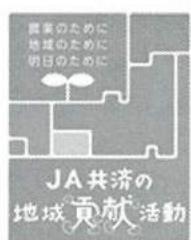
社会・地域貢献活動「シリーズプロジェクト」の一環として、興正こども家庭支援センターとの共催で、児童養護施設などを卒立つ高校生たちを対象に「おとなの食育」もつと牛乳を飲もう！マナー講座」をホテルオークラ札幌で開催しました。北海道の酪農、牛乳・乳製品についてや、ナイフやフォークの使い方など基本的なマナーを学びました。（この取り組みは、2014年から継続して実施しており、今年で5回目になります。）



JA共済連北海道



数多く実施している地域貢献活動を広く知つてもらえるよう、ロゴマークを作りました。ロゴマークに描かれた日本地図とそこから生える新芽には、全国各地の活動が地域に根付くようにという想いが込められ、手を取り合いながら歩く「貢献」の文字は地域の皆さんとJA共済が支え合う姿をイメージしています。J A 共済が展開する地域貢献活動はW E Bサイト「ちいきのきずな」で紹介しております。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るために、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しております。医療・健

康情報を発信しております。



ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。